

あいあいあい

I eye 愛

2019年
1月号



今年も笑顔でお届けします

12/7 あいコープ対応品質コンテストに出場した事業部/配送職員

新年を迎えて

PB商品の価値を

より多くの人に伝えます

理事長 高橋千佳

輝かしい新春を健やかに迎えるにあたり、皆様にご挨拶申し上げます。

本年は、あいコープみやぎ2020年ビジョン計画4年目にあたり、生協設立40周年という節目の年になります。設立以来私たちは、「より自然で安全な食べ物を自分たちの手で作る」という想いを胸に、作り手との顔の見える関係と組合員の声に基づいた多くの「価値ある商品」を生みだしました。そして東日本大震災後も、常に地域の生産者と共に地場産業の活性化・食料自給率の向上・地域循環・環境保全を目指し続けています。

40周年という節目に、これまで組合員に愛されてきたあいコープのPB（プライベートブランド）商品の価値を再確認し、その魅力を解りやすく表現するための方法を検討し始めました。昨年11月には、あいコープの商品価値

を端的に伝えることを目的として組合員・生産者・職員で構成する「あいコープPBリブランディング実行委員会」が発足しました。あいコープのPB商品を利用する人が増えることは、食の安全安心を守り生産現場を応援し、社会を変えることに繋がります。リブランディングによって組合員だけではなく、地域の人たちにも発信することでより多くの人にあいコープの理念が詰まった商品を広め、私たちの理念に共感する仲間を増やします。

あいコープみやぎは、これからも社会情勢にアンテナを張りながら、未来を担う子ども達に持続可能な社会を残すため、そして誰一人取り残さない豊かな社会の実現のために活動して参ります。本年も、皆様の想いに寄り添いながら、大切な商品をお届け致します。

CONTENTS

- ▶ 新年のあいさつ …1-2
- ▶ プラスチック問題と向き合う …4-5
- ▶ 石けん学習会報告 …7
- ▶ 秋のフォーラム報告 …3
- ▶ 阻止ネット学習会報告 …6
- ▶ 生産者さんにあいに行こう！わたり納豆の巻 …8



2019年 新年のごあいさつ

明けましておめでとうございませう。昨年は私どもの豆腐・油揚げをご愛顧いただき誠にありがとうございました。今年で創業150年を迎えることが出来るのも皆様のお蔭でございます。社員一同、よりおいしく安心安全な商品造りに努めてまいりますので、本年もよろしくお願い致します。



菅野食品工場長
菅野勝也さん

謹んで新年の御挨拶を申し上げます。昨年は時世を象徴する一字として「災」が選ばれました。集中豪雨、地震、たび重なる異常気象等、正に災害大国日本を改めて痛感させられた一年でした。TPP11もいつのまにか始まりました。「今だ



あいコープ共生会会長
大郷グリーンファームズ社長
郷右近秀俊さん

け、金だけ、自分だけ」という価値感がまかり通ろうとしています。

「私たちは協同の力で人、食、環境を大切に持続可能な社会をつくりたい。」

あいコープみやぎの基本理念です。混沌とする今こそ理念を礎にして活動して行きます。無論、組合員・職員と一緒に同じ目線で活動してまいります。

今年はい災い転じて福と成る様、皆様と一緒に知恵を借りながら活動してまいります。宜しくお願いいたします。



間宮商店社長
間宮徳昭さん

昨年は「魚食プロジェクト」を通じて、たくさんのあいコープ組合員さんや職員と交流ができ嬉しいお言葉や多くの気づきを頂きました。今年も更にたくさん交流し、良い商品をお届けできるように頑張ります。



七郷クローバースファーム
代表 細谷滋紀さん

新年あけましておめでとうございます。昨年中も皆様にはたくさん米と野菜を食べて頂きまして、本当にありがとうございます。クローバースファームでは、



日向養豚 鈴木豊さん

いつも大変お世話になっております。弊社では、美味しい豚肉をつくるために優れた血統の種豚を選び、飼料は県内産にこだわり、愛情をたっぷり注いで大切に育てています。昨年は、猛暑の影響で豚に適した環境

昨年までに研修生が2名独立しました。今年もさらに、新しい若いメンバーが増える予定です。そして今年は何と言っても：あいコープ産地は新たな栽培基準に向けてよりスキルアップした形の取り組みに臨みます。失敗することもあると思いますが、皆様の温かい励ましをよろしくお願い致します。

を整えることが難しく、対応に追われました。今年も、季節ごとに対策を整え、良い環境づくりを心掛けたいと思います。



知れは感動！「花たまご」の秘密

11/27 仙南地区



大須賀木さん

「花たまご」でおなじみの花兄園から社長の^{おおすながこだち}大須賀木さんにお越し頂き、こだわりをお聞きました。一般市場と花兄園との大きな違いの1つ目は餌です。一般の養鶏場の鶏の餌は、遺伝子組み換えがほとんどで、そうでないものは1%を切っているという現状の中、花兄園では安全・安心な餌にこだわっています。

2つ目は卵の殺菌消毒方法。環境負荷の大きい次亜塩素酸を使わず強酸性水で瞬間殺菌しているそうで、この設備を持っている養鶏場は大変珍しいそうです。「卵は生き物だから」という社長のお言葉に参加者からも「感動した」などの声が聞かれました。

お話の後は調理&試食です。ゆで卵をはじめ、「花たまご」をふんだんに使ったさつまいものクラフティ、スパニッシュオムレツ、サラダにスープ、・・・と卵尽くしのランチをいただきました。



花兄園の

卵

～あいコープPBを学ぼう～ 2018年 秋のフォーラム報告

時間をかけて育てる本物の味「国産丸大豆醤油」

11/28青葉A・B地区

鎌田醤油の

醤油

あいコープが誇る鎌田醤油の「国産丸大豆醤油」をテーマに、鎌田雅敬専務をお迎えしてフォーラムを開催しました。NPO法人とうほく食育実践協会にもご協力頂き、一般の醤油との食べ比べワークを行い、違いを学ぶことができました。

鎌田醤油の「国産丸大豆醤油」はまるやかで深みのある味。対して糖類やアル



コールなどが添加されている市販の醤油は塩辛く化学調味料の味が残る味。市販のお醤油は輸入大豆を使ったものが多く、6ヵ月程度もあれば完成するそうですが、鎌田さんの国産丸大豆醤油は、宮城県産の原材料にこだわり1年～2年間かけて熟成させるのでうま味のあるまるやかなお醤油に仕上がるといいます。あいコープPB商品の価値を改めて知り、味わい尽くしたフォーラムでした。

「パスちゃん牛乳」で！モッツアレラチーズ作り

11/22 若林地区

ながめやま牧場の

牛乳

あいコープの前身である仙台共同購入会の頃から組合員が望み続けた放牧酪農牛乳。2013年7月にデビューした放牧パスちゃん牛乳は、多くの組合員に支持されています。

今回はその牛乳を使って、お酢で手軽に作れる方法でモッツアレラチーズを作りました。

牛乳を65℃まで温めお酢を入れてかき混ぜると、みるみるうちに牛乳がそぼろ状になっていきます。それをザルで漉し、80～90℃のお湯の中で木べらを使い練りこんでいき、形にしていきます。参加者も手軽に作れる方法に驚いたようでしたが、「子供と一緒につくれそう。」「味もまるやかで美味しい！」と大好評。安心・美味しい「パスちゃん牛乳」の新しい楽しみ方を再発見できる会となりました。



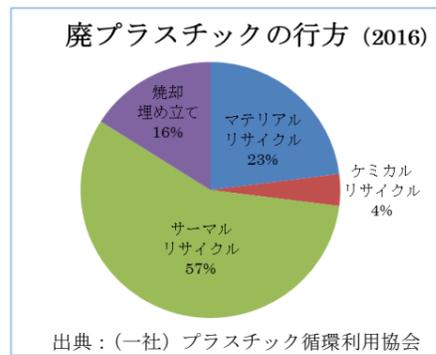
できることから 少しずつ でも確実に プラスチック問題と向き合う！

石油から作られるプラスチックは自然界で分解されず環境（特に海洋）に残り続けます。時間を経て劣化し、微細化してもなお残り続け、有害物質を含んで海を漂い続けるのです。使い捨てプラスチックによる環境汚染の深刻さは、様々なメディアで報じられるようになってきました。しかしあいコープはずっと以前からこの問題に向き合い学んできた歴史があります。そしてこれからも変わらず問題について学び、消費者として暮らし方を改善し、外部にも発信していきます。

◆「リサイクル」は免罪符？ 「分別しているから安心♪」は幻想かも…◆

廃プラスチックをリサイクルする手法は、大きく分けて3つ。
「マテリアルリサイクル」（プラスチック製品の原料として再利用）
「ケミカルリサイクル」（化学的に分解して化学製品の原料として再利用）
「サーマルリサイクル」（固形燃料にしたり焼却して熱エネルギーとして再利用）

2016年の実績（右図）を見ると、文字通り「再利用」しプラスチック製品に生まれ変わるといってマテリアルリサイクルはたったの23%！大部分は結果的に焼却されていることがわかります。「リサイクルできているから安心」ではなく、**使い捨てプラスチック製品を増やさないことが肝心です。**



◆ようやくメディアも頻繁に取り上げるように！◆



年間約140万トンの廃プラスチックが日本から中国に輸出されているという。

2018年7月、中国が「廃プラスチックの輸入禁止」を決定したというニュースで、日本がプラスチックごみを輸出していたことを知ったという方も多いはず。また、**マイクロプラスチック**（※）問題への対策として、レジ袋の有料化や、大手ファストフード店などがプラスチック製ストローを廃止したニュースも話題になりました。それが解決になるのか？と疑問の声はあれど、プラ問題が注目されるきっかけとなったのは事実です。

※**マイクロプラスチック**…海洋に漂う直径5ミリ以下の微細なプラスチック。プラスチックごみが紫外線で劣化して微細化したものなどで、有害物質を吸着し、誤食する海洋生物に悪影響を与えている。



◆あいコープはこれからもプラスチック問題と向き合っていきます◆



組合員活動が盛んなあいコープは環境問題にも永く取り組んでおり、その活動には歴史があります。1990年代に活動していた「リサイクル委員会」が先頭に立ち、当時の組合員が多数参加してプラ削減に取り組んだ成果で、今でもあいコープの商品にはほとんど使い捨てトレーを使っていません。



講演会で実験を見せる高田先生



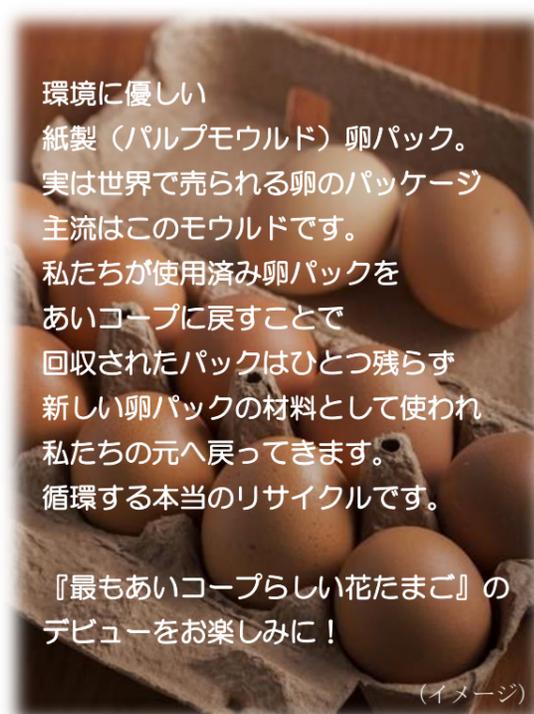
高田先生と共に海岸を調査する組合員

◆2019年4月 花たまごのプラパックを廃止し紙製（パルプモールド）に！◆ 【容器まで自慢できる 花たまごになります！】

あいコープでは「この二重の袋、要らないのでは？」「納豆のパックはどうなの？」と、常に包材について疑問を持ちながら『あいコープらしい商品づくり（選び）』を目指しています。しかしながらすべてを排除するのは難しいもの。例えば納豆パックは工場の設備・労働力の問題や、一定温度を保つという製造工程において発泡のパックの方が都合良かったり、他にも食材の扱いやすさや衛生面で必要な容器もあり、今すぐなくすことができないものがあるのも現実です。でも何かアクションを起こさなくては！
 多くの利用がありプラ削減効果が大きいもの、そしてプラでなくても（プラでない方が）利点のあるもの。それが「卵パック」でした。この春、花たまごはプラパックを廃止し包装を改善します！



10/30 パルプモールド再生工場を理事が視察しました
 回収された紙の卵パックこれは100%再び卵パックに生まれ変わります
 他の古紙と混ぜて水だけでドロドロにほぐして…
 型で圧縮して乾燥させたら、新しい卵パックの出来上がり！



環境に優しい紙製（パルプモールド）卵パック。実は世界で売られる卵のパッケージ主流はこのモールドです。私たちが使用済み卵パックをあいコープに戻すことで回収されたパックはひとつ残らず新しい卵パックの材料として使われ私たちの元へ戻ってきます。循環する本当のリサイクルです。
 『最もあいコープらしい花たまご』のデビューをお楽しみに！
 （イメージ）

11/25 あいコープふくしま あいコープ祭り参加報告

11月25日(日)、ビッグパレットふくしま(郡山市)で開催されたあいコープふくしまの『あいコープ祭り』に、あいコープみやぎの組合員、職員が参加しました。今年度、共に商品開発プロジェクトを進めている間宮商店(魚食)、社会福祉法人みんなの輪(スイーツ)、それぞれのブースにスタッフとして入り、ふくしまの皆さんに商品をお伝えしてきました。同じカタログを利用する組合員同士なのですぐに打ち解けることができ、楽しく交流することが出来ました。



種子(たね)に注目！ これは何のたね？



この時期は特に欠かせないお野菜です。もう少しすると曲がったのも流通しますね。

答えは P6 下段。



阻止ネット学習会報告

「原発ゼロ」は実現可能!

11月23日「阻止ネット」主催の学習会「原発ゼロ社会に向けて楽しく実践するための学習会」(東京)に参加しました。

まず原子力市民委員会座長・龍谷大学教授の大島堅一さんからは「原発ゼロ社会への道」と題して1、政府のエネルギー政策、2、原発維持が不可能であること、3、原発ゼロ社会に向けて大切なことをお話いただきました。特に事故処理・廃炉といった後処理が高コストであり、また廃棄物の管理は10万年という途方もない期間を要することを考えれば、原発の継続は「ありえない」こと。将来世代へ負の遺産を増やさず、原発ゼロの政権を私たちの手で作り上げることが大切とお話いただきました。

立憲民主党の山崎誠さんからは、ドイツやオーストラリアで広がる再生可能エネルギーを紹介いただき、また原発ゼロ基本法制定に向けた働きかけ・政策づくり・エネルギー



パネルディスカッションで話す金上孝事務局長(ひっぽ電力)

事業の実践についてお話いただきました。

後半のパネルディスカッションでは茨城県東海第2原発再稼働を巡り活動中の生協組合員からは、行政主導の「広域避難計画」の困難さについて問題提起をする活動が報告され、また丸森町ひっぽ電力の金上さんからは地域振興をエネルギー自給で!と力強いお話をいただきました。最後に、楽しく活動するために政治に関心を持つこと、でんきの使い方やでんきを選ぶ大切さを皆で確認し、有意義な集会となりました。

理事 大滝満雄

※阻止ネット:六ヶ所村再処理工場に反対し放射能汚染を阻止する全国ネットワーク

まんま通信のあるくらし

10/13(土) 青葉B地区 企画報告

あいコープに乾杯!

おいしい&お手軽 お酒に合う☆おつまみメニュー



今日は大人だけのお楽しみ♪

「まんま通信」には毎日のご飯やお弁当作りだけでなく、お酒のお供にも大活躍の商品がたくさんあります。今回は初の18時から開催の試食会!簡単でおいしいおつまみとお酒の試飲もできる「大人限定企画」を、青葉区中央市民センターで開催しました。

青葉B地区担当理事 安部 有理

まずはみなさんでおつまみの準備。手揚げ油揚げはちよつと炙っただけでカリッとふつくら。スモークサーモンのサラダやポイルしたソーセージなど、あつという間に絶品のおつまみが完成しました。お酒もまんま通信掲載の日本酒やワインを中心に数種類、国産果物のジュ



お酒もあいコープで注文しよう!との声も(^_^)

理事会議事録抄

2018年12月4日(火)
 ▼あいコープ新栽培区分設定の進捗について確認した。
 ▼たまごパック廃止に向けたスケジュールを確認した。▼Wa!わあ祭りの振り返りを行った。▼2019年度通常総代会議案書の策定協議日程を決定した。▼2019年度通常総代会の日程及び場所を決定した。▼2019年度組合員活動について検討した。▼2020年度役員改選までのスケジュール案を確認した。▼優ぶらんど報告会(仮)企画書を承認した。▼設立40周年記念セレモニーについて協議を行った。

組織概要 (2018年11月分)

【組合員数】	13,120名
【供給高】	211,456千円
【一人実利用高】	5,288円/週
【出資金】	1,124,012千円



オーガニック原料を使った基礎化粧品で「素肌改革」

石けん環境委員会では、「素肌改革」と題し、来年度取扱い予定の化粧品「素肌レシピ」の学習会を太陽油脂株式会社 堀清貴さん、石垣誉子さんをお迎えして11月21日に開催しました。

初めに、堀さんから石けんと合成洗剤の歴史を聞き、石けんの特性を実験で見え、石けんはどうして環境に優しいと言われるのかをわかり易く学びました。また、石けん生活の初心者がつまずきやすい、石けんシャンプーの使い方についても教えて頂きました。

次に石垣さんに、オーガニック原料を使った「素肌レシピ」の発売までの経緯と商品の紹介をして頂きました。たくさんある素肌レシピ商品を実際に試しながら、太陽油脂を身近に感じられたのではないかと思います。

なかなかメーカーと直接話す機会はないので、あいコープはいいな、続けていきたいなと感じた学習会でした。

石けん環境委員長 佐藤あきな

美肌づくりのポイント
* しっかり保湿。
化粧水で水分を補ったあとは油分で覆いましょう。
* 人にも環境にも優しい原材料を使った商品を選びましょう。



太陽油脂の堀さんと石垣さん



対応品質コンテスト報告



熟演を終えた出場者の8名

12月7日「第1回あいコープみやぎ対応品質コンテスト」を開催しました。今年度、日生協が主催する「対応品質コンテスト」に初めて参加させていただき、他生協の組合員対応を客観的に見たことで、気づき・学ぶことが多く、あいコープでも良い機会になればと今回の開催に至りました。コンテストでは各部代表者8名の実演となりましたが、代表者だけでなく、職員一丸となって「対応品質とは何か」を考え、意見を出し合いながら、コンテストに臨むことが出来ました。今後も職員ひとり一人が対応品質向上を考え、対応品質地域No.1になれるよう日々取り組んでいきたいと思えます。

事業部供給課長 庄子裕章

編集後記



平成最後の新年を迎えました。この編集後記を書いているのは年の瀬ですが、笑平成30年間は、皆さんにとつてどんな時間だったのでしょうか。社会のありよう、暮らしのありようがどんどん変化して、ついていくのが精いっぱい。そんな一面もあるかしら。

嬉しいことに、あいコープの組合員には平成生まれの方がどんどん増えています。これから先は、どんな世代にもあいコープがすんなりと受け入れられる、そんな活動、事業の展開を皆さんと共に繰り広げたいですね。

副理事長 高野恵美子

●機関紙あいあいあいのご意見・ご感想

組合員番号、氏名、電話番号をお書きの上、配送もしくはFAX(022-284-6973)にて、あいコープみやぎ理事会広報宛にお送り下さい。

組合員の皆さんの『つぶやき』も大募集中!

組合員が利用できる電話相談

お申込み・お問合せは
ジョイケア事務局へ



022-284-7277 平日 9:00~17:00

1/8(火)・・・法律相談 弁護士 松澤陽明氏
13:30~15:30

1/8(火)・・・年金相談 社会保険労務士 清野道子氏
13:30~15:30

1/15(火)・・・子ども相談 宮城教育大学教授 菅井裕行氏
10:00~12:00

1/15(火)・・・くらしの相談 消費生活専門相談員 加賀淳子氏
10:30~12:30

1/18(金)・・・思春期相談 臨床心理士・スクールカウンセラー 北條貴子氏
9:30~11:30

▼各相談窓口前週の日曜日までには予約して下さい。随時受け付け可能です。▼
▼予約して頂いた方には、相談日に相談員からお電話を差し上げます。

ジョイケア NEWS

ジョイケアシステムは、あいコープみやぎ独自の地域福祉政策で、組合員全員の拠出金(100円/月)によって成り立っている助け合いの仕組みです。社会福祉法人「みんなの輪」、NPO法人「お茶っこケア」、ビッグイシューへの支援など、地域福祉にも役立てられています。個人で利用できるサービス(ささえあい/たすけあい/集団託児/慶弔・出産/電話相談)もあり、組合員同士の助け合いやケアメイトによる集団託児なども多く利用されています。

ジョイケア利用状況 (2018年10月分)

ささえあい(保障)	0件	◆集団託児	
たすけあい(ケア)	37件	利用延べ人数	51名
集団託児	30件	◆ケア時間	221時間
慶弔・出産	15件		
電話相談窓口	5件		
計	87件		



●届けられる野菜を調理するのが楽しみでした(献立が一品増えましたo) もったいない野菜サポータ②

生産者 さんに **あい** に行こう! ② **わたり納豆の巻**

原料・製法のこだわりで
大手には作れない納豆を



宮城県亘理町であいこーぷの納豆を作っている『わたり納豆』。この納豆にはいわゆる納豆臭さがなく、市販品と比べると匂いの違いに驚いてしまいます。秘密を伺うと「当たり前のことをしているだけ」とおっしゃいます。

まず原料。あいこーぷの納豆は北海道産の「スズマル」という風味豊かな大豆を中心とした国産大豆100%でできています。

そして技。習得には10年かかると言われている職人技で、発酵時の豆の並べ方やスペースにも気を遣い、菌がのびのびと繁殖できるように管理しているそうです。コスト重視のやり方とは一線を画し、まるで豆に寄り添うかのように作っているのだと感じました。また、菌の種類や管理方法も、1年に1回あえて別の方法を試すことで問題点を洗い直しているそうです。

社長の照井正彦さんが納豆づくりを始めた頃、売上だけを求めている大手と張り合うことになると、大量生産にはできない「おいしさ」を目指したそうです。その想いは身を結び、わたり納豆の『国産大豆100%納豆』は2011年に



あいこーぷの取材に応えるわたり納豆のおふたり

納豆鑑評会で全国一位となり、農林水産大臣賞を受賞しました。照井社長が作る納豆は、原料へのこだわりに加え職人の技術と愛が詰まった賜物だと改めて感じました。

息子の慶彦さんが取締役就任し、新しい風が吹き込んだわたり納豆。今後もとても楽しみですぞね!



わたり納豆

照井慶彦さん・照井正彦代表取締役

わたり納豆は私の祖父である照井重吉により戦後の混乱期に栄養価のあるものを提供しようとの想いで昭和23年に創業いたしました。その想いを引き継ぎ昨年11月に創業70周年を迎えることが出来ました。

納豆は大豆の浸漬(水に浸す)に一晩、熟成発酵に一晩、出荷、組合員のみな様のもとに届くには最低4日かかります。

1年かけて育ってきた大豆を生かすも殺すも製造工程にかかっています。納豆の製造で最も重要になってくるのが、熟成発酵の工程です。当社の納豆は豆の旨味を活かすため低温熟成製法にて製造しております。この製法を用いることで豆の旨味が残り糸引きがよい美味しい納豆ができます。熟成発酵を行う室の温度管理が納豆造りのキーになっております。

これまで地域の皆様に支えられて操業を続けて参ることが出来ました。創業者の想いを受け継ぎ、これからも美味しいと思っ頂ける納豆をお届けしていきたいと思ひます。

照井慶彦

Calendar *今後のイベント*

1/13(日) たねまきプロジェクト
種子の選別&おしるこ交流会

場所/ あいこーぷみやぎ日の出町センター
時間/ 10:00~12:00 登録制

1/29(火) 泉B地区企画
**みんなであいごはん
~菜種油編~**

場所/ 桂市民センター 調理室
時間/ 10:00~13:00 参加費/500円

1/18(金) しおさい地区企画
多賀城こども食堂見学

主宰/ アスイク
場所/ 多賀城こども食堂
時間/ 18:00~19:30

1/31(木) 宮城野地区企画
**映画「遺伝子組み換え
ルーレット」上映会**

場所/ あいこーぷみやぎ日の出町センター
時間/ 10:00~12:00 参加費/無料

地区委員さん募集中!
一定例会見学も受付中~

地区委員会は

楽しい!
おいしい!
学べる!!

あいこーぷの仲間だから
本音トークができます。



お問い合わせ先

☎ 0120-255-044

Fax 0120-849-324

Email soshiki@mamma.coop

(担当: 組織運営室長 豊嶋)